

平成30年12月（第4回）岩倉市議会定例会
一般質問通告要旨

1 鈴木 麻住 議員

1 所有者不明土地について

- (1) 市内の所有者不明土地はどの程度あるのか。
- (2) 所有者不明土地の現状での調査状況はどのようなか。
- (3) 所有者不明土地での空き家との関連はどのようなか。
- (4) 所有者不明土地において民法上及び税法上の問題はどのようなか。
- (5) 「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」の施行により市の対応はどのようなか。

2 公共施設再配置計画について

- (1) 公共施設再配置計画を策定後の計画実施に向けてどのような体制で進めるのか。
- (2) 本計画は5年毎の見直しについてはどのような基準でどこの部署で行うのか。

3 岩倉北小学校屋内運動場の複合施設計画の実施について

- (1) 施設計画での市民参加の考えはどのようなか。
- (2) 設計業者はどのように選定するのか。
- (3) 複合施設計画全体の取りまとめはどのように考えているのか。
- (4) プールの取壊しが2020年度に計画されているがプールでの水泳の授業はどのようなか。
- (5) 市立体育館取壊し後の跡地利用の考えはどうか。

4 岩倉南小学校の屋内運動場の耐震補強工事について

- (1) 耐震補強工事での補強内容はどのようなか。
- (2) なぜスチールサッシを改修していないのか。

5 その他施設整備について

- (1) 岩倉東小学校の地下式受水槽の改修はどうするのか。
- (2) 岩倉東部保育園のトイレ改修において保健所の確認はできているのか。

2 大野 慎治 議員

1 生産緑地の2022年問題について問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 生産緑地の今後のあり方について問う。
- (3) 生産緑地2022年問題に関する農家意向調査を実施するべきではないか。

- 2 シティプロモーションの取組について問う～関東学院大学法学部地域創生学科 准教授 牧瀬 稔 氏の講演を受講して～
 - (1) 現状について問う。
 - (2) シティプロモーションの第2ステージに向けての提言
- 3 小中学生のかばんの中身が重すぎるのではないか
 - (1) 小中学校におけるかばんの重さの実態調査結果について問う。
 - (2) 文部科学省が9月6日に「置き勉」について柔軟対応を認める通知を出したことを受けて、改めて置き勉についての見解を問う。
- 4 小中学校エアコン設置スケジュールについて問う
 - (1) 発注・設置スケジュールについて問う。～来夏までに間に合うのか～
- 5 消費税増税に備えた対策について問う
 - (1) 工事等の請負契約に係る経過措置について問う。

3 須藤 智子 議員

- 1 防災対策について
 - (1) 女性視点の防災対策について。
 - ① 女性の視点がふんだんに盛り込まれた東京都の防災ブック「東京くらし防災」を参考にして、岩倉市でも防災ブックを発行して市民に配布してはどうか。
 - (2) 災害時ペットをどう守るか。
 - ① 環境省から出された冊子「災害、あなたとペットは大丈夫？人とペットの災害対策ガイドライン〈一般飼い主編〉」について。
 - ② 「災害時動物愛護ボランティアリーダー」の育成について。
- 2 シェアリング・エコノミー（シェア経済）について
 - (1) シェア経済で地方創生の可能性があるのか。
 - ① 人材の活用などで自治体を支援するという事で、総務省が「シェアリングエコノミー活用推進事業」を行うという事だがその内容について。
 - ② 各自治体のシェア経済の取組事例について。
- 3 教育メディエーターについて
 - (1) 学校のもめ事を解決へと導く「教育メディエーター」とは何か。
 - (2) 岩倉市でも「教育メディエーター」を取り入れる考えはあるのか。

4 木村 冬樹 議員

- 1 性の多様性を尊重する社会をめざして

- (1) 同性パートナーシップ制度、性の多様性を尊重する条例制定についての現時点での考えは。
- (2) 男女共同参画基本計画における情報提供や啓発の取組状況と今後の計画策定に向けての考えは。
- (3) 行政書式から不必要な性別欄を削除すべき。
- (4) 公共施設に性別を問わないトイレの設置を。
- (5) 職員研修の具体化を。
- (6) 相談体制の整備を。

2 自治体アウトソーシングを考える

- (1) 公務の民間委託・指定管理の現状をどう見ているのか。
- (2) P F I 導入は優先的に検討すべきではない。
- (3) 水道の民営化・広域化を考える。

3 転換期の国保・介護保険を保険者としてどのように運営していくのか

- (1) 国保の県単位化はどこへ向かうのか。
- (2) 改めて、子どもの均等割の減免を求める。
- (3) 国保運営委員会委員に公募委員を。
- (4) 介護保険の総合事業は必要なサービスを提供できているのか。
- (5) 保険者機能強化推進交付金の評価指標への回答状況は。
- (6) 保険料・利用料の減免制度の見直しを。

5 関戸 郁文 議員

1 行政の発注責任について問う

- (1) がん検診を行政が実施した場合、その検診に不具合があった場合の責任範囲について問う。
- (2) その他一般的な発注責任の範囲について問う。

2 地方分権改革有識者会議における学童保育職員基準緩和方針について問う

- (1) 学童保育職員基準緩和方針の内容について問う。
- (2) 学童保育の現状と今後の岩倉市方針について問う。

6 伊藤 隆信 議員

1 財政問題について

- (1) 国、地方、岩倉市の借金の状況は。
- (2) 第9次実施計画は今後の岩倉市の新しい公共施設の予算編成の基礎となるのか。

- 2 行政経営について
 - (1) 行政改革の取組について。
 - (2) 市民サービスの向上に向けて。
- 3 財政運営について
 - (1) 健全な財政運営に向けて。
 - (2) 収納率の向上について。
 - (3) 新たな財源確保の考えは。
 - (4) 今後の財政運営について市長の考え方は。
- 4 環境問題について
 - (1) 地球温暖化の危険性について。
 - (2) CO₂削減の取組について。
 - (3) ゴミ問題について。

7 堀 巖 議員

- 1 障害者雇用の水増し問題からユニバーサル就労を考える
 - (1) 岩倉市における障害者雇用の実態は、どのような（市役所及び民間企業の雇用実績）。
 - (2) 障害者雇用促進法に規定されている市の責務に対する取組はどのようなか。
 - (3) 同法に基づく特定身体障害者の採用に関する計画はどのようになっているか。
 - (4) 様々な理由により働きたくても働くことができない状態にある全ての人の就労のためのユニバーサル就労に対する先進地の取組をどのように評価するか。
- 2 続・情報公開のあり方について問う＝市の情報は、市民のものであることを認識するべき
 - (1) 議事録の録音データは、なぜ市に存在しないのか。
 - (2) 自己情報訂正請求をどのように処理したのか。
- 3 地方自治法の規定に反した会議体で決定された（案）は、無効ではないか
 - (1) どうして同じ過ちを繰り返すのか（住民監査の結果から）。
 - (2) 保育園適正配置方針に係る懇話会は、地方自治法の規定に基づく附属機関ではないにもかかわらず、その内容は附属機関と同等のを行っていることが指摘された。法的に不適切な運営をしており、その決定は無効ではないのか。
- 4 保育園適正配置方針に係る懇話会の中で、「認定こども園の建設に当たって、市内の実績ある学校法人のお力を借りてやってきたということで、市外から他の事業者を入れることはできるだけ排除してきた。」と副市長が述べている。他の事業者を意図的に排除する手続は適正なのか。

- 5 不適切な法令解釈を改めるべきではないか（岩倉市民プラザの管理及び運営に関する規則について）
 - (1) 市の規則では、会議室及び多目的ホールの利用の許可を受けようとする者は3月前から利用許可申請書が提出できると規定しているが、いつから6月前から提出できるようになったのか。
 - (2) なぜ改正しないのか。

8 梅村 均 議員

- 1 市民体育祭プログラム検証
 - (1) プログラムの検証はどのようにしているか。
 - (2) 過去のプログラムと比較すると一般参加が減ったように思うがなぜか。
 - (3) 中高生向けのプログラムを入れるなど、より広い市民参加の体育祭にできないか。
- 2 万全な職員組織体制に向けて
 - (1) 職員人事異動の時期は適切か。
 - (2) 将来に備え、職員意向調査に基づいた準備を。
- 3 農業の未来を考えた取組を
 - (1) 最近の6次産業化への取組状況は。
 - (2) 6次産業化に取り組む意識啓発研修を。
- 4 新しい人の流れをつくるための総合戦略の効果は
 - (1) 総合戦略として掲げた具体的な施策事業③④⑤（住宅政策）の状況は。
 - (2) 子育て世帯は増えているか！？来年度の見直しに向けての方策は。
- 5 中小企業支援の充実を（働けるまちづくりを）
 - (1) 地域活性化推進協議会の意見は活かされているか。
 - (2) まちなか空き店舗への助成制度を復活できないか。
- 6 将来に向けた桜保全事業を考える
 - (1) 桜の木を透いて販売を考えてはどうか（ふるさと応援寄附金の返礼品等にもできないか）。
- 7 指定管理者制度を採用している公共施設において、避難所開設時の責任（役割）分担はできているか

9 相原 俊一 議員

- 1 下水道工事について

- (1) 災害と市内土木・建設業者との関係を市はどの様に考えているか。
- (2) 下水道工事の将来の計画は。
- (3) 入札に市内業者のための総合評価方式の比重を大きく。
- (4) 入札及び工事書類の改善を。

2 死亡時の関連書類について

- (1) 市として死亡時の提出書類はどの様なものがあるのか。
- (2) 大分県別府市、兵庫県三田市のおくやみコーナーとは。
- (3) ワンストップサービスの導入を求む。

3 石仏スポーツ広場について

- (1) 築何年で、年間の整備費用は。
- (2) 土間のコンクリートひびわれ補修は。
- (3) トイレのセンサーと照明の不具合の解消を。
- (4) 放置自動車の撤去は。
- (5) グラウンド東側砂防ネットの補修は。砂防効果は。

10 塚本 秋雄 議員

1 市民協働による公共の拠点づくり

- (1) 市民活動の自由・自発性をもって、市民と行政の両者が協力して魅力的なまちづくりを進めていくべきでないか。

2 交通安全対策について

- (1) 交通量の多い道路横断における「横断中」の横断旗設置状況について。

3 総合体育文化センター利用について

- (1) 多目的ホールの利用受付について。

11 宮川 隆 議員

1 市内の道路事情はこのままでよいのか

- (1) 生活様式住宅環境の変化に伴い、生活道路にかかわる不都合が各所に見受けられるが、現状把握はなされているのか。
- (2) 現状の対策のあり方はどのようになっているのか。
- (3) 生活道路にかかわる構造や規制等過去の歴史や設置目的があることは理解したうえで、将来的にはどのように解決すべきであるととらえているのか。

- (4) 行政が定めたルールに基づき生活のあり方が決まってゆくのは本意ではないが、将来に向けた長期展望を示したうえで、市民住民に選択していただくことは大切であると考えているがお考えをお聞きしたい。

2 市内工業団地計画の進捗状況はどのようになっているのか

- (1) 歴史的埋蔵物発掘による影響をどのようにとらえているのか。
- (2) 他市町の状況をつかんでいるのか。
- (3) 他市町に先行されることにより岩倉市内の開発価値が薄れた時の対策は考えられているのか。

12 榎谷 規子 議員

1 子どもたちの人権を保障し、働く父母が安心して託せる保育を

- (1) 公共施設再配置計画の1つひとつに、市民の声をしっかり聞く話し合いを。
- (2) 保育料無償化をめぐる問題についてどう考えるか。
 - ① 財源を消費税としている点について。
 - ② 恩恵は所得が高いほど大きくなるという点について。
 - ③ 認可外保育施設も対象にすることについて。
 - ④ 無償化によって生み出された財源をどう使うか。
 - ⑤ 無償化の対象とならない食材費、教材費などについて。
 - ⑥ 無償化の影響による入所児童数について。

2 災害の備えに何が必要か

- (1) 耐震診断・耐震補強工事はどう進んでいるか。
- (2) ブロック塀補助の見直しを。
- (3) 避難所、避難生活を人権が守られるものに。
- (4) 福祉避難所を実効あるものに。

3 シティプロモーションを別の角度から考える

- (1) 市外、県外の人が多く集まる岩倉市内で行う行事・イベントなどの取組をどう把握しているか。
- (2) 会場整備、スポーツ備品などを見直しを。
- (3) 五条川マラソンの復活を。

